



おちほ

第63号 平成21年3月15日発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者山下陽一

鬼は外 落穂寮の節分 福は内



年男年女のみなさん

「福は内、鬼は外！」今年も節分の季節がやってまいりました。落穂寮では2日早く、2月1日に恒例の豆まきを行いました。最近では、巻き寿司を丸ごと食べる「恵方巻き」をやっている方も多いと思いますが、この日の夕食はちらし寿司。当然、みんな同じ方向をむいて、黙って食べる訳もなく、いつもと同じくにぎやかな食事でした。そして、夕食後には今年の年男、年女が集合。丑年生まれば計5名。12歳、24歳はゼロで、36歳2名、48歳が3名という内訳でした。みなさんには袴姿になっていただき、男子棟、女子棟の順で豆まきへ。棟に入ると、鬼の扮装をした職員にびっくりする方、果敢に豆をぶつけに行く方、投げるより食べる方と、みなさんそれぞれの形で豆まきを楽しんでおられました。こうして今年の節分も無事終了。今年も福がいつぱいの年になりますように。

大統領に「ジュピター」を

理事長 山下陽一

黒人大統領

二〇〇九年一月二〇日、厳冬のワシントンには二百万人余りの人たちの熱気であふれました。厳重警備のなか、オバマ大統領の就任演説をアメリカ全土のみならず世界中が見守った就任式でした。参加者の一人は「歴史的現場に立ち会いたい」と感激の様子を通信社は世界に伝えていました。まさにこの様子を情報の同時性で世界中の「今」を居間で見ることができると時代になっています。

数年前黒人大統領が国家の危機の難局をリードするというSF映画を制作したアメリカが、本当に黒人大統領を選任するなど異国の誰が予想できたでしょうか。つい十数年前に街頭で複数の警官が無抵抗な黒人を警棒で殴打していた風土。本当に変わってきたのだらうかと多くの人が半信半疑に思ったことでしょう。一体なにが始まるうとしていたのでしょうか。

贈り物を引き継ごう

彼の就任演説は予備選挙の時のような派手で聴衆を鼓舞するような言葉はなく、祈りにも似た内容が織り込まれたものでした。

彼は、(今、自分達がこうしてある

のは) 苦しい労働に耐えてきた人々により、繁栄と自由をもたらし旅を経たものだと訴えています。この旅は「近道」はなく途中で挫折しないため歩いてきた。戦死した人々に対し敬意を表するのは、自分自身よりも大切なものに意味を見出そうとしているからだ。そしてその道の途中にあつて、

将来の子どもたちに自由という偉大な贈り物を引き継いだと語られるようにしよう、と訴えます。この大統領に信頼を託して宣誓を行つていく「今」を責任をもって私たちの子どもたちの子どもたちに引き継いで行こう、というわけだ。

「無私」と「勇氣」と「育み抱くこと」が運命を最終的に決めていると述べています。大統領は、人種隔離の歴史について多くは述べていませんが、もしかすると「平等」は「自由」よりも優先すると考えているのかも知れません。おそらくその奥底には、肌の色に関わらず、ひび割れた手で硬い土を耕した歴史に登場しない名もない人々が「静かな力」となつて現在の「礎」を形作つたという認識が深いのではないかと思われるのです。

ひとりじゃない

数年前、平原綾香のコンサートで、「ジュピター」を聴いたおじさんたちが涙したと聞きました。ホルストの雄大で神秘的な組曲「惑星(木星)」

の一部をアレンジしたのですが、これほど心に響く歌に変換できるものとは。詩はいうまでもなくボーカルも独特な唱法で発声しているようにその心地よいメロディーが「おじさんたち」の疲れたころのひだに沁み込んでいったものなのでしょう。この「祈りの歌」は、それぞれの世代に感情移入をもたらしものを秘めているとしたら何がそうさせているのでしょうか。

「日々、こころに耳を傾けるのです、ひとりじゃない」と「ジュピター」は語りかけます。「私のこの両手で何ができるの、痛みに触れさせて、その目を閉じて、夢を失うよりも、悲しいことは、自分を信じてあげられないこと」。少し意味不明なところがあるものの、今日の様々な痛みを共有することにより、私たちは誰もひとりじゃないという共感と連帯を信じよう、という内容だと思えます。

奇跡により「いのち」が生まれ、それが子どもからまたその子どもへ引き継がれる「いのち」。このことが「ひとりじゃないんだ」というメッセージではないかと思えます。このあたりが、疲れた戦士を自認するおじさんたちの胸を詰まらせる原因になつていのではないかと思われるのです。

「愛を学ぶために孤独があるなら意味のないことなど起こりはしない」おじさんたちにとってはこれがとどめの一撃になつてしまつたようです。

深い折り

「心の静寂(しじま)に耳をすまして今は自分を抱きしめて、いのちのぬくもり感じて、私たちは誰もひとりじゃない」ジュピターは広い宇宙(そら)にむかつて発信しています。

オバマ大統領はアメリカの混沌とした世相がもたらす自信の喪失を憂慮していることを語り、そのなかで共通の目的をもって歴史を歩もう、とメッセージを送っています。

この就任演説はアメリカを奮立たせるものという性格よりも、子どもからその子どもへ継承すべきものの確かさを祈り宣誓したものだと思います。理不尽に殴打され、蔑まれ、犠牲になつた人たちはあらゆる歴史の中にもみることができません。その底辺に立つてその歴史をあげつらわないうで、戦つて犠牲になつた人たちの蓄積を引き継ぐという彼の登場は、今までにない視点を私たちに示していくことでしょう。共通の目的と勇氣、それに想像力が加わることで待つて成し遂げられることに世界中が期待していることでしょう。

「ひとりじゃない、深い胸の奥でつながる…望むように生きて輝く未来を」ジュピターは唄います。

平和、雇用、医療、教育、環境などの諸問題の解決も混沌として予断を許さない状況の中にあつて、その危機を切り開く苦難の道程として旅する人々と大統領に祈りをこめて期待したいところです。



寮 長

中嶋貴一郎

前理事長の高井正義先生が亡くなられて、早1年が経ちました。時の流れの速さを痛感しておりますが、ご命日に遺影に手を合わせながら、いろいろな思いをめぐらせていました。

高井先生が亡くなられた同じ1月に、4年前に亡くなったHさんのご仏前にもお参りさせて頂きました。私が落穂寮に勤めて36年が過ぎようとしています。その間に多くの寮生の方が亡くなっています。そのほとんどが、落穂寮が児童施設であった時に亡くなられた方々で、まだ20歳にも達していない方も多くおられました。障害があるゆえに身体が弱く、病気で亡くなる方、不慮の事故により亡くなった方もいます。それはいつも突然の事が多かったです。

それだけに、共に暮らしてきた私たちには、親御さんと同じように計り知れない悲しみが襲ってきました。

若くして亡くなった寮生さんを目の前にした時、いつも思うのは、この人たちにとって生きた証しとは何だったのだろうか、この人たちの短かったけれど精一杯生きた生き様を私たちは受け止め切れたのだろうかという事を。

先日、映画「火火」をビデオで見ましたが、この作品は信楽の陶芸家で骨髄性白血病で若くして亡くなった神山さん母子の実話を元に描かれ、その後の骨髄バンクの創設につながっていった話ですが、その中で主人公の青年が死を目前にして、「自分が生きた証しを残したい」と語りながら作陶に打ち込み、多くの作品を残している、お母さんもそれに答えるべく、彼の作品を焼き続ける。このシーンを見ながら、私はこのお母さんの境地に立てたのだろうかと思わずにはいられなかった。

私は、写真や映像が好きでカメ

ラやビデオをまわしてきましたが、日々の記録を残すと言う意味合いと、寮生さん一人一人のその時々々の生活の姿を残したいと言う意味もありました。この思いは落穂寮の中に脈々と引き継がれ、今も職員が写真や映像を撮り続け、大切に保管しています。その中には亡くなった人の写真もあり、時々見返しては思い出にふけている事があります。

こういった形に残す事も大切ですが、それ以上に、私たち共に暮らした職員がいかに記憶の中にとどめていくか、亡くなった人に対してはその人が生きた証しとして、その人の思いを受け止め、心に刻んでいくことが亡くなった人への鎮魂の思いといえるのではないのでしょうか。

人にかかわる仕事をするということは、その人の人生を背負う事だと言われますが毎日の寮生さんとの生活の中で、その言葉の意味と重さを痛感する毎日です。

私は常に寮生さんに接する時、少々大袈裟な言い方かもしれませ

んが、寮生さんの一生を考え、どんな支援をすればいいのかを考えながら関わって行きたいと思っています。

若くして亡くなった寮生さんの遺影を前にした時、その人の人生を背負いきれたのか自問自答をしている自分に気が付きます。ただ、遺影の前に「あなたの生きた証しは、私の心の中にありますよ」と言う言葉を添えて、私の鎮魂の意としていきます。

高井先生の遺影に手を合わせながら、私の思いを語って来ました。

リフレッシュ旅行二〇〇八

水泳班 in BIWAKO



綾乃さん&綾さん 個人旅行
in TOKYO



安見さん&夏美さん 個人旅行



グルメ班 in MORISHIMA



小山さん 個人旅行

in KYOTO



遊園地班 in NAGASPA



崇史さん 個人旅行 in OSAKA



ドライブ & グルメ班 in ISHIKAWA

★2008年 クリスマス会★

待ちに待った12月25日。クリスマス会が行われました。この日は朝から寮生さん達だけでなく職員も楽しみな気持ちでいっぱいでした。このクリスマス会を寮生さんと一緒に楽しみたいと思いますので、職員は毎晩準備や出し物の練習をしてきました。

- 1部・ハンドベル
- ・寮生さんによる漫談
- ・ダンス
- ・寮生さんによるハーモニカ
- ・音楽
- ・おやつ
- ・プレゼント
- 2部・ディナー

Merry Christmas



♡ハンドベル♡
職員によるハンドベル。クリスマスの雰囲気満点の綺麗な音色でした。



♡漫談&ハーモニカ♡
寮生さんによる漫談とハーモニカ。この日のために前々から練習されていた様でクリスマス会に華を添えて下さいました。



♡ダンス♡

今年も、3曲ダンスをさせて頂きました。1ヶ月前からどの曲にするのか悩み、振り付けに悪戦苦闘の毎日でした。最後には、寮生さんも一緒に踊って大盛況でした。



♡音楽♡

今年も、3曲披露させて頂きました。寮生さんも大好きな、スピッツの「空もとべるはず」では、会場中みんなが聞き入っていました。





☆プレゼント渡し☆

今年も無事、落穂寮にサンタさんがやってきました。ただ一ついつもと違うのは、毎年夜に来ていたサンタさんが、今年はお昼に来たということ。だけど寮生さんは特に気にする様子もなく、視線はサンタさんの持つている大きな袋に集中♡自分の名前が呼ばれると満面の笑みでプレゼントを受け取り、「メリークリスマス」と返すことができました。



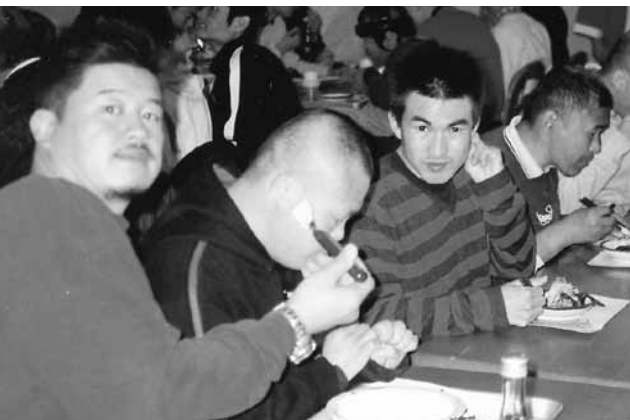
☆装飾☆

窓全体に貼られたステンドグラス、天井に施されたつたやリース。今年も食堂が素敵なクリスマスパーティーの会場に早変わりしました。キャンドルもたかれ、みんなのクリスマス気分をグンと高めてくれました。



☆落穂レストラン☆

「いらっしやいませ、落穂レストランへようこそ」サンタの格好をしたウェイトレスが迎ええます。いつもとは違ったムード漂う食堂、よそ行きの服、次々に運ばれてくるクリスマスメニューにみんなの期待も膨らんでいきます。一番人気のメニューはポテトサラダでした。沢山おかわりをし、ケーキやシャンメリーまで頂き、一年に一度の贅沢な一時をみなさん存分に堪能されていました。



大切なブラッシング

(社) 滋賀県歯科医師会
口腔衛生センター
歯科衛生士

山崎 容子

お口の機能は、話す、笑う、噛む、味わう、飲み込むなど、どれもとても大切で、お口の健康は楽しく気持ちよく元気に生活する上で欠かすことができないものです。歯の病気であるむし歯や歯周病にかかる痛みを伴い、日常生活に支障をきたすこともあります。

また障害を持つ人たちにとってもお口の健康は同じように大事な物ですが、ケアが難しい場合もあり重症化しているむし歯がある人も珍しくありません。

歯の健康維持・管理に必要なことはブラッシングです。お口の中にハブラシを入れて動かすだけで



はいけません。病気の原因となる歯垢(細菌の塊)を取り除くことが大切です。歯並びや歯ぐきの健康状態にあわせて歯ブラシを上手に使う必要があります。また障害を持つ方へのブラッシング介助を行う場合も同様に、個々の歯並びや健康状態にあわせたブラッシング介助を行う事がポイントとなります。落穂寮の利用者さん達のブラッシングについては口腔衛生センタースタッフと職員さんと共に利用者さん一人ひとりに応じたブラッシング介助を実践できるよう様々な工夫を行っています。

ご自身の歯を介助する場合、どのように磨くと良いのかは専門家である歯科医師、歯科衛生士に相談することをお奨めします。

また歯科受診を定期的に行うことで病気の早期発見、早期治療につながり、治療が必要な場合でも簡単な治療で済みます。健康維持のため、毎日のブラッシングを見直してみてはいかがでしょうか。

(社) 滋賀県歯科医師会
口腔衛生センター
〒525-0072 草津市笠山7丁目4-43
TEL、FAX: 077-564-6692
診療日時: 火曜日・木曜日
午後1時~5時



世界中に灯を!

昨年の秋に世界を駆け巡った経済危機の中、十二月十三日に、その方々は来て下さいました。そう、NEEC労組の皆さんです。毎年の事ながら段取りが良く、あつという間に交換され、更には器具の点検やアドバイスまで頂き、本当にありがとうございます。

大変な状況の中、感動と共に、福祉に携る者として見習うべき心を学ばせて頂きました。



▽あるTV番組で、地球の水は、直径5m深さ30cmぐらいの池が海水とすると、180ccのコップ1杯程度しかなく、それを全世界の人口が利用している。今後水不足は深刻な問題だと報道されていきました。

泉

さて、そこで私達は常日頃から環境に配慮した生活をする必要があるのですが、それが出来ない人は、やはり人に対しても配慮出来ません。弱い立場の人は自分の生活環境を整えるための要求がなかなか出ません。私達はその人達の代弁者として主張し、支援する必要があります。それは物を言わない地球に代わって、地球の環境に配慮し、自然と共に生きていく事と同じなのです。

あらゆる資源は限りあるものです。それに配慮して生活すること、そういう事に常に配慮する姿勢が、良い支援に繋がっていくのです。

木

手の入れられた木は、とても美しい形をしています。でもそれは手入れする人の形であり、方向なのです。うしろから見ても同じ姿形とは限りません。いや、全く違う形が殆どでしょう。どこから見ても、その木は、その木なのです。大事な事は、心を澄まして、木の声を聴く事です。